

2024

11 / 26

火曜日

13:30

(開場12:30)

17:30

全席自由

主催 宮崎県
共催 木城町
後援 芸能学会



中之又神楽

KAGURA OF MIYAZAKI; NAKANOMATA KAGURA

National Noh Theatre / 2024, November 26 tue.



生を静に舞う

演目紹介

● 三番神楽 (鬼神地舞)

「一番神楽」、「花の舞 (地割)」で御神屋が清められると、地舞の「鬼神」が降臨します。地舞とは、御神面を迎えるため先祓いを行い、神々を誘引する舞の形式。素面の二人舞で、装束は毛頭、白張に素襖で腰幣を差します。採り物は鈴と扇。舞い始めに神楽歌があり。鬼神が舞い入ると、脇に座し控えます。

● 鬼神舞 (二人舞あり)

鬼神は森羅万象の根元を説き、在地祭神の出現のため厄を祓う先導役。装束は冠、紋入りの千早に大口袴、腰幣 (神葉) を差し、採り物は扇とツエンポ (鬼神杖)。唱教 (歌) を唱えます。鬼神の合図で控えの地舞が立ち、ツエンポ (鬼神杖) で押し合う「セギ」と呼ばれる動作で舞います。鬼神が退くと、鈴と御幣を手に地舞が舞い納めます。

● 弓将軍

弓の呪力で厄神を祓い、田地を守護する舞。素面の二人舞で、装束は毛頭、白張に赤襷掛け、二本矢を背負い舞います。舞の前半に唱教 (歌) があり、採り物は鈴と弓矢で、様々に持ち替え舞います。



● 弓将軍



● 鬼神舞



● 三番神楽 (鬼神地舞)



● 中央之舞・舞上



● 四人神崇



● 獅子とり荒神



● 住吉之舞

● 住吉之舞 / 若男の舞

祝子に背負われ登場する黒の住吉面 (翁) は、邪気を祓い日常の安穩を祈願し、「急」の岩戸目標の段に移る序の舞と位置付けられます。面様の一人舞。装束は烏帽子に白鉢巻、素襖を襷掛けに着して、白手袋を着け、扇を腹部に差します。採り物はツエンポ (翁杖) で、最後は祝子に背負われ退きます。

● 獅子とり荒神 (獅子舞・荒神舞)

獅子 (猪) の習性を知り尽くした荒神が舞い入る演目で、荒神装束は頭巾に毛頭、白張、紋入りの千早に赤襷を掛け、手にはツエンポ (荒神杖) を持ちます。後半は舞い戻った猪とともに舞い、荒神が猪を狩り、狩りの作法を指南します。

● 四人神崇

剣の呪力により四方を祓い清める舞。素面の四人舞で、装束は毛頭、白張にあか赤たすき襷を掛け、帯として巻きます。採り物は鈴と抜き身の刀。修験や山伏の験力を公開する風の舞で、古くは真剣を用いていました。

● 中央の舞 (神主)

「四人神崇」の舞上であり、中央を舞い土地を鎮めます。神主役が舞い入り、中央に立ち唱教 (歌) を唱え、東南西北との問答を行います。四人神崇の舞手が退くと、神主役の一人舞となり、装束は烏帽子に白鉢巻、白張に狩衣。鈴と御幣を手に舞い納めます。